

外部機関への出向

裁判所には、外部での業務を通じ、
より広い視野を得ることを目的とした出向制度があります。

最高裁判所 事務総局デジタル審議官付主任

西川 陽祐 (H22 採用)

略歴

- H22 東京地方裁判所裁判所事務官(採用)
- H28 東京地方裁判所立川支部裁判所書記官
- R4 他官公庁(政府機関)に派遣
- R6 現職

IT技術を活用した最先端のオフィスでの仕事。

私はシステムの運用・改修・保守を行う政府機関に出向
していました。

制度改正に伴うシステム改修、数年単位のプロジェクト、
様々なIT用語飛び交う専門的な業務に加えて、テレワーク
前提の業務形態、完全なペーパーレスの実現、情報共有

アプリの新規導入と積極的活用という、今後の裁判所
が向かっていく世界がそこにはありました。

日々進歩を続ける IT 技術に対しアンテナを張り知識
を習得し、新しいことを柔軟に受け入れ活用する風土
という裁判所での経験と全く異なる世界に接すること
ができ、大いに刺激をうけ、自らも成長することがで
きました。

今、私は裁判所に戻り、デジタル総合政策室という裁判
所のデジタル化の中心で、これからの裁判所の世界を
描くチームにいます。

外部での経験を活かし、新しい試みを柔軟に受け入れる
姿勢を持ち、裁判所のデジタル化がより良いものとなる
よう力を尽くしたいと思います。



My Pride

未来の裁判所を描く
存在ざあること